

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
音楽セラピー I Music Therapy I		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	()	メディカルクラークユニット
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
音楽の世界				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
岡泉志のぶ 久保田隆範	講義棟3階(岡泉) 本館3階(久保田)	岡泉：月、水、木、金 久保田：月、火、水、木		授業中に指示します
授業の概要				
音楽療法は、ストレスなどで病んだ心や体の症状を改善したり、痛みを緩和し生活の質の向上を図る目的で音楽を用いる療法である。この授業では、医療現場などで求められている音楽の効能に関心を持ち、音楽的な教養と豊かな感性を身につけ、リラクゼーションの手段としてミュージックベルを活用し、音楽療法における癒しの効果について考える。音楽表現で感性を高める。				
授業の目標				
① 普段の生活の中で、自然と体験している音楽の力の基礎知識を習得できるようにする。 ② 音楽の構成する3つの要素（リズム、メロディ、ハーモニー）を認識することができるようにする。 ③ 自ら選択した音楽でどのような癒しの効果があるかを確認し、音楽の特徴を述べるができるようにする。 ④ 癒しの効果を目指した作品を選別し、共同でミュージックベルの演奏ができるようにする。				
授業の方法				
演習科目として、グループ活動でのミュージックベルとトーンチャイムの演奏を行う。				
学習の成果（学習成果）				
① 音楽を鑑賞する楽しさや幅広い音楽への興味や関心が高まり、豊かな感性を身につけることができる。 ② 音楽の要素を認識して音楽的な基礎教養が身につけ、音楽作品を選別することができる。 ④ 音楽療法を利用した心身のケアに対し、リラクゼーションの手段としてミュージックベルの活用ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス シラバスを参考に授業の進め方や成績評価方法について説明する			
第2回目	音楽の力と生活			
第3回目	音楽の基礎知識と音楽の活用法① ー音符とメロディーー			
第4回目	音楽の基礎知識と音楽の活用法② ー和音とハーモニーー			
第5回目	ミュージックベル・トーンチャイム① ー実践ー			
第6回目	ミュージックベル・トーンチャイム② ー応用ー			

第7回目	ミュージックベルの効果① (クラシック音楽とその効果)	
第8回目	ミュージックベルの効果② (幅広い音楽とその効果)	
第9回目	音楽活用法① (メロディライン)	
第10回目	音楽活用法② (メロディとハーモニー)	
第11回目	音楽活動の実践① (学外演奏)	
第12回目	音楽活動の実践② (学外演奏)	
第13回目	音楽活動の実践③ (学外演奏)	
第14回目	医療現場や施設における音楽の効果	
第15回目	音楽活動の実践を通して (反省・課題)	
事前・事後学習	事前に基礎的な楽譜の譜読みや音楽の癒しの効果について整理し、ミュージックベルでは与えられた音を奏でることができるように個人で復習をする。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	音楽に関心を持って積極的に授業に参加している。
レポート	30%	音楽活動についてレポート提出をする。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容 (態度含む)	50%	音楽活動の実践として、歌唱または演奏することができる。
その他		
教科書と参考図書		
テキスト、参考書：適宜、プリント、資料、楽譜の配布をする。		
履修上の留意点・ルール		
授業中の居眠り、私語、携帯電話 (使用可の場合は指示する) の使用と飲食は禁止とする。使用教室 (MR I、保育ルーム) は土足禁止である。		